

平成15年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報会議 東北海区海況予報

平成15年8月6日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2003年9～11月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並～やや南偏(35°30'N～36°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並～やや南寄りに推移する。
- (3)釧路南東沖の暖水塊は持続し、金華山沖の暖水塊は西方へ移動する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(39°30'N以北)で推移し、常磐近海に冷水域が残る。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～やや強勢(143°20'E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2003年1月～2003年6月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並～やや南偏で推移した。
- (2)釧路の南東沖で暖水塊が停滞しており、5月には金華山沖合に暖水塊が認められた*。
- (3)親潮第1分枝の南限は、3月までは平年並～北偏(42°N～40°N)であったが、4月以降は南偏(39°30'N～38°30'N)で推移した。
- (4)表面水温は2月以降、東北海区以北で平年より低めで推移した。

(現況(2003年7月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並である。
- (2)暖水塊が、釧路の南東沖約270km、および金華山の沖合約480kmにある。
- (4)冷水域が、常磐沖に複数と、下北半島沿岸にある。
- (5)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏傾向にある(38°30'N)。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～やや強勢(142°50'E)。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以東を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による